



平成30年度

東京音楽大学大学院音楽研究科

# 科目等履修生募集要項

---

# 目 次

---

## I 科目等履修生概要

- 1 出願資格..... 1
- 2 科目等履修生 I ..... 1
- 3 科目等履修生 II ..... 1

## II 指導教員 ..... 2

## III 試験概要

- 1 募集人員..... 4
- 2 試験場..... 4
- 3 選抜方法..... 4
- 4 日程一覧..... 5
- 5 試験科目..... 5
- 6 出願手続..... 12
- 7 合格発表..... 13
- 8 問い合わせ先..... 13

## IV 登録手続

- 1 登録手続..... 14
- 2 学費..... 14

## V 成績開示 ..... 15

## VI 個人情報の取り扱いについて ..... 15

【綴込み】 出願書類（書式）

# I

## 科目等履修生概要

東京音楽大学大学院音楽研究科科目等履修生は東京音楽大学大学院学則第 37 条、第 38 条に基づき、単位の修得を目的として修士課程の科目を履修するほか、演奏、特定の研究分野等の研究指導を受ける。なお、科目等履修生の登録は正規院生の教育研究に支障のない範囲内で許可される。

### 1 出願資格

次のうち、いずれかに該当する者

- ① 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 83 条に規定する大学を卒業した者及び平成 30 年 3 月までに卒業見込みの者
- ② 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者及び平成 30 年 3 月までに授与される見込みの者
- ③ 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 30 年 3 月までに修了見込みの者
- ④ 文部科学大臣の指定した者
- ⑤ 大学に 3 年以上在学し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本学研究科が認めた者
- ⑥ 大学を卒業した者と同等以上の学力があると本学研究科が認めた者

### 2 科目等履修生 I（音楽家養成コース）

#### (1) 概要

科目等履修生 I（音楽家養成コース）は実技科目の単位の修得を目的とする。

#### (2) 履修科目（p.4 参照）

履修科目及び付与単位数は大学院音楽研究科カリキュラムを準用する。

#### (3) 履修期間

履修期間は 1 年間とする。ただし、継続して履修する場合は、研究科委員会の許可を得て通算 2 年の範囲内で期間を延長することができる。科目等履修生 II の履修期間は I の年限に通算しない。

#### (4) 履修単位の上限

履修 2 年間で、10 単位を上限とする。

#### (5) 単位認定

履修した科目について単位の認定を受けるには、当該科目の試験等を受け、合格する必要がある。また、履修した科目が単位認定された場合、履修者の願い出により成績証明書を交付する。

### 3 科目等履修生 II

#### (1) 概要

科目等履修生 II は特定の研究課題についての研究を目的とし、単位は付与しない。

#### (2) 履修期間

期間は 1 年間とする。ただし、継続を希望する場合は、研究科委員会の許可を得て通算 2 年の範囲内で期間を延長することができる。科目等履修生 I の履修期間は II の年限に通算しない。

# II

## 指導教員

平成 30 年度大学院科目等履修生担当予定教員

専攻	研究領域	細専攻区分	教員名
器楽	鍵盤楽器	ピアノ	石井 克典、岡田 敦子、菊地 麗子、ガーボル・ファルカシュ、小林 出、清水 和音、武田 真理、野島 稔、播本 枝未子、村上 隆、迫 昭嘉、鷺見 加寿子、三浦 捷子、小川 典子、石附 秀美、川上 昌裕、倉沢 仁子、小高 明子、広瀬 宣行、石井 千穂、稲田 潤子、植木 純、岡藤 由希子、長川 晶子、御邊 典一、川島 基、菊地 裕介、山口 優、米田 栄子 ほか
		オルガン	徳岡 めぐみ
		チェンバロ	渡邊 順生
		伴奏	山洞 智、広瀬 宣行、水谷 真理子、御邊 典一、腰塚 賢二、谷池 重紬子、ピアノ担当教員 ほか
	弦楽器	ヴァイオリン	荒井 英治、大谷 康子、木野 雅之、山口 裕之、海野 義雄、瀬戸 瑠子、藤原 浜雄、小栗 まち絵、原田 幸一郎、中村 静香 ほか
		ヴィオラ	店村 眞積、大野 かおる、百武 由紀
		チェロ	菊田 雅治、ドミトリー・フェイギン、鈴木 秀美、堀 了介、毛利 伯郎 ほか
		コントラバス	星 秀樹、吉田 秀
		ハープ	柏原 靖子、篠崎 史子
		クラシックギター	荘村 清志、江間 常夫
	管打楽器	木管	工藤 重典、四戸 世紀、宮本 文昭、水谷 上総、小串 俊寿、中野 真理、安原 理喜、松本 健司 ほか
		金管	アンドレ・アンリ、呉 信一、津堅 直弘、水野 信行、外園 祥一郎 ほか
		打楽器	菅原 淳、神谷 百子、久保 昌一 ほか
	室内楽	鍵盤楽器 弦楽器 管打楽器	鍵盤楽器研究領域ピアノ担当教員 弦楽器研究領域担当教員 管打楽器研究領域担当教員

専攻	研究領域	教員名
音楽	独唱	加納 里美、釜洞 祐子、菅 有実子、小森 輝彦、佐野 成宏、水野 賢司、 水野 貴子、横山 恵子、川上 洋司、秋山 隆典、阿部 純、立原 ちえ子、 伊達 英二、星 洋二、緑川 まり ほか
	作曲	梶場 富美子、西村 朗、藤原 豊、北爪 道夫、新実 徳英、細川 俊夫、 土屋 雄、原田 敬子 ほか 邦楽・古楽・民族楽器演習担当教員
	指揮	田代 俊文、広上 淳一、増井 信貴、野口 芳久、加納 明洋、坂本 和彦、 時任 康文、三河 正典、三原 明人、米津 俊広
音楽教育	音楽教育*	加藤 富美子、下道 郁子、福田 裕美
	音楽学*	坂崎 則子、武石 みどり、村田 千尋、藤田 茂
	ソルフェージュ	梶場 富美子、伊藤 節子、福士 則夫、荒尾 岳児、日野原 秀彦、岡島 礼

\* 科目等履修生Ⅱの指導担当



## 試験概要

### 1 募集人員

種 別	専攻	研究領域	科 目	単位数	募集人員	
科目等履修生 I (音楽家養成コース)	器 楽	鍵盤楽器	器楽実習	4	各専攻とも 若干名	
		弦楽器	器楽実習	4		
		管打楽器	器楽実習	4		
		室内楽 (※ 1)	室内楽実習	4		
	声 楽	独 唱	声楽実習	4		
	作曲指揮	作 曲		作曲実習 (※ 2)		4
				邦楽・古楽・民族楽器演習 I		2
		指 揮	指揮実習	4		
音楽教育	ソルフェージュ	ソルフェージュ研究実習	4			
科目等履修生 II	器 楽 声 楽 作曲指揮 音楽教育	各研究領域 (音楽学を除く)	論文作成	付与 しない		
	音楽教育	音楽学	音楽学実習	付与 しない		

(※ 1) 器楽専攻「室内楽」は 2 名以上 6 名以内の構成。グループ選抜を行う。

(※ 2) 社会の多様なニーズに即戦力として対応し得る人材を育成するため、平成 30 年度より従来の現代音楽中心の「芸術研究」のほかに、各種メディアに対応した実践的な「応用研究」が可能となります。

### 2 試験場

東京音楽大学 (住所：〒171-8540 東京都豊島区南池袋 3-4-5)

※試験場には必ず受験票 (共演者、伴奏者、譜めくりは受験票のコピー) を持参し、守衛室に呈示して入構してください。

### 3 選抜方法

- 科目等履修生 I (音楽家養成コース) については、実技試験、作品審査、論文審査、面接 (他大学出身者のみ) 及び出身大学の成績証明書等の各資料を総合して判定します。ただし、東京音楽大学学部卒業見込みの者にあつては、卒業試験の実技成績等 (作曲の場合は作品) を審査の上、科目等履修生 I の実技試験を免除することがあります。
- 科目等履修生 II については、小論文、口述試問及び出身大学の成績証明書等の各資料を総合して判定します。

## 4 日程一覧

### 出願および検定料振込期間

平成 29 年 12 月 11 日（月）～ 12 月 18 日（月）出願書類は郵送のみ受付（期間内必着）

### 試験期間

平成 30 年 2 月 20 日（火）～ 2 月 21 日（水）

試験日程	平成 30 年 2 月 20 日（火）	声乐専攻 器楽専攻 鍵盤楽器（伴奏）	実技試験・面接
	平成 30 年 2 月 21 日（水）	器楽専攻 鍵盤楽器（ピアノ） 弦楽器 管打楽器	実技試験・面接
合格発表	掲示	平成 30 年 2 月 26 日（月）13：00～17：00（本学 J 館 2 階ロビー）	
	Web	平成 30 年 2 月 26 日（月）13：30～2 月 27 日（火）13：30	
登録手続期間		平成 30 年 2 月 27 日（火）～ 3 月 13 日（火）	
成績開示申請期間		平成 30 年 2 月 27 日（火）～ 3 月 13 日（火）	

※試験日程、集合場所等の詳細は、平成 30 年 2 月 19 日（月）15：00 に本学 J 館入口に掲示し、ホームページに掲載します。

※次の領域等の試験日程は出願状況により決定します。

器楽専攻鍵盤楽器研究領域（オルガン・チェンバロ）、器楽専攻室内楽研究領域、作曲指揮専攻、音楽教育専攻、科目等履修生Ⅱ

※出願状況により、実技試験の日程が変更されることがあります。

## 5 試験科目

### 科目等履修生Ⅰ（音楽家養成コース）

●実技試験：平成 30 年度大学院音楽研究科修士課程入学試験に準ずる。専攻別課題（p.7～11）を参照のこと。

- ・願書受付後、受験曲や志望する専攻の変更は認めません。
- ・演奏は暗譜で行ってください。ただし、当日、演奏箇所が指定される場合がありますので、試験会場まで楽譜をお持ちください。なお、鍵盤楽器研究領域（チェンバロ）、同（伴奏）、管打楽器研究領域（打楽器）、室内楽研究領域及び指揮研究領域の演奏実技は暗譜の必要はありません。

- ・伴奏者、譜めくりを必要とする場合は、志願者が同伴してください。伴奏はピアノ伴奏のみとします。(伴奏者及び譜めくりは受験者の責任と負担で用意することを原則とします。ただし、やむを得ない理由で伴奏者を用意できない場合は、大学院課(修士課程担当)にご相談ください。伴奏者を紹介することができます。)

#### 伴奏時間・謝礼等

楽器等	伴奏時間		謝礼
	平成30年2月19日(月)	試験当日	
弦楽器	60分	直前練習30分+本番	15,000円
声楽	40分	直前練習30分+本番	13,000円
管打楽器	伴奏者と要相談		

申込方法：願書の伴奏者氏名欄に「大学院に依頼」と記入し、出願書類に伴奏者用の楽譜を同封してください。受験票の伴奏者氏名欄は空欄のまま出願し、受験票返却後、伴奏者名を記入してください。

支払方法：願書受付後、本学財務課から振込依頼書が郵送されますので、期日までに振込をしてください。

※伴奏者が決定次第、願書に記載のメールアドレスにご連絡します。伴奏者の連絡先をお伝えしますので、平成30年2月19日(月)の練習時間を決めてください。練習場所は本学A館練習室が使用できます。予約方法の詳細は受験票返却時の同封書類をご確認ください。

※上記以外の練習を希望する場合は、伴奏者と別途相談となります。

- 面接：他大学からの受験者のみ。

## 科目等履修生Ⅱ

- 小論文及び口述試問

## 専攻別課題表

### 科目等履修生 I 器楽専攻

鍵盤楽器	ピアノ	<p>1. 次の (1) (2) のどちらかを選択すること</p> <p>(1) J. S. バッハ：平均律クラヴィーア曲集第 I・II 巻より任意の 1 曲</p> <p>(2) 下記のエチュードより任意の 1 曲            ショパン、リスト（超絶技巧、パガニーニ大練習曲）、            ラフマニノフ、ドビュッシー、スクリャービン、バルトーク、            ストラヴィンスキー、シマノフスキ、プロコフィエフ、メシアン、            リゲティ、カプースチン</p> <p>2. バロック・古典・ロマン・近現代期より異なった 2 つ以上の時代から            任意の 2 曲以上。楽章の抜粋可。</p> <p>※ 1 と 2 を合わせて、15 分以上にまとめ、記載した順序で暗譜で演奏する            こと。繰り返しは任意。</p>
	オルガン	<p>(1) D. ブクステフーデ、N. ブルーンズ、V. リューベックの            大規模な Praeludium または Toccata（ペダル付）から任意の 1 曲</p> <p>(2) J. S. バッハ：18 のコラル集より「バビロン川のほとりで」            BWV 653b（Doppelpedal）</p> <p>(3) J. S. バッハ：トリオ・ソナタから任意の 1 曲            （全楽章、繰り返し省略）</p> <p>(4) J. S. バッハの以下の作品から任意の 1 曲            BWV 540（F dur）、BWV 542（g moll）            BWV 548（e moll）、BWV 564（C dur）</p> <p>(5) ロマン派、現代のオルガン作品から任意の 1 曲（8 分以上）</p> <p>※試験当日以前にレジストレーションのための若干の練習時間を与える。            ※アシスタントを同伴する場合は、願書に記入すること。            ※オルガンにはスウェル・ペダル及びフリーコンビネーション装置はない            ので注意のこと。            ※(1)～(5)のうち、当日数曲指定する。            ※暗譜で演奏すること。</p>
	チェンバロ	<p>(1) バード、ブルまたはスヴェーリンクによるファンタジアあるいは            大型のパヴァーヌとガリアルド</p> <p>(2) フレスコバルディ：任意の作品</p> <p>(3) 任意のプレリュード・ノン・ムジュレまたはトンボー</p> <p>(4) D. スカルラッティ、またはソレルの任意の作品</p> <p>(5) W. F. バッハまたは C. P. E. バッハの任意のソナタ 1 曲</p> <p>(6) J. S. バッハ：6 つのイギリス組曲より任意の 1 曲</p> <p>(7) 自由曲 1 曲（但し、上記の 6 曲と様式の異なる作品）</p> <p>(8) 初見視奏            ①バロックの様式による小曲            ②通奏低音</p> <p>※(1)～(7)のうち数曲を当日指定する。            ※暗譜の必要なし。</p>

次の(1)(2)のどちらかを選択すること。

(1) 次に記すA Bの両方を受験する。

A. 次の① ②のどちらかを選択

①ベートーヴェンまたは、ブラームスの任意のヴァイオリン又はチェロ・ソナタ (全楽章)

②ブラームスの任意のクラリネット・ソナタ (全楽章) (ヴィオラとの共演でも可)

B. 次の歌曲の中から1つを選択

①モーツァルト：クローエに KV 524

②シューベルト：ガニューメート op. 19, no. 3

③シューマン：『リーダークライス』op.39 より no. 5「月の夜」

④ブラームス：セレナーデ op. 106, no. 1

⑤ヴォルフ：『ゲーテ歌曲集』より no.29「アナクレオンの墓」

⑥R. シュトラウス：変わらぬもの op. 69, no. 3

⑦フォーレ：マンドリン op. 58, no. 1

⑧團伊玖磨：『わがうた』より「ひぐらし」

(2) 次に記すA Bの両方を受験する。

A. 次の①～④の中から1つを選択

①ブラームス：

・五月の夜 op. 43, no. 2

・ナイチンゲールに寄せて op. 46, no. 4

・昔の恋 op. 72, no. 1

・ぼくらはさまよい歩いた op. 96, no. 2

・教会墓地にて op. 105, no. 4

上記の歌曲 (計5曲) を全曲演奏すること。順番は自由。

②R. シュトラウス：

・帰郷 op. 15, no. 5

・セレナーデ op. 17, no. 2

・あすの朝 op. 27, no. 4

・愛を抱いて op. 32, no. 1

・ばらのリボン op. 36, no. 1

上記の歌曲 (計5曲) を全曲演奏すること。順番は自由。

③ドビュッシー：忘れられし小唄 (全曲)

④中田喜直：六つの子供の歌 (全曲)

B. 次の① ②の中から1つを選択

①ベートーヴェンまたは、ブラームスの任意のヴァイオリン又はチェロ・ソナタ (第1楽章のみ)

②ブラームスの任意のクラリネット・ソナタ (第1楽章のみ)  
(ヴィオラとの共演でも可)

※ (1)(2)とも暗譜の必要なし。

※ 演奏順序、繰り返しは任意。

<b>弦楽器</b> <small>※繰り返しは任意</small> <small>※暗譜で演奏すること</small>	<b>ヴァイオリン</b>	(1) パガニーニ：カプリスより任意の1曲 (2) J. S. バッハ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタより任意のフーガ (3) 任意の協奏曲より第1楽章（カデンツァを含む） ※(1)～(3)を合わせて30分以内にまとめること。
	<b>ヴィオラ</b>	(1) J. S. バッハ：無伴奏チェロ組曲または無伴奏ヴァイオリン・ソナタより任意の1曲 (2) 任意の古典派協奏曲の第1楽章（カデンツァを含む） (3) 任意の近現代協奏曲の第1楽章 ※(1)～(3)を合わせて30分以内にまとめること。
	<b>チェロ</b>	(1) ポッパー：40の練習曲 op.73より任意の1曲 (2) J. S. バッハ：無伴奏チェロ組曲より任意のプレリュード (3) 任意の協奏曲より第1楽章または最終楽章（カデンツァを含む） ※(1)～(3)を合わせて30分以内にまとめること。
	<b>コントラバス</b>	ディッターズドルフ：コントラバス協奏曲 ホ長調第1楽章（グルーパー版。カデンツァを含む） ※ソロチューニング、オーケストラチューニングいずれも可。
	<b>ハープ</b>	(1) ヘンデル：ハープ協奏曲 変ロ長調 全楽章（グランジャーニー版） (2) 以下より1曲、または同程度の難易度、演奏時間の自由曲1曲 ・サルツェード：古代様式による主題と変奏 ・グランジャーニー：狂詩曲
	<b>クラシックギター</b>	(1) J. S. バッハ：リュート組曲より任意のプレリュード (2) ヴィラ＝ロボス：エチュードより1曲 (3) 任意のギター協奏曲より任意の1楽章

<b>管打楽器</b>	<b>管楽器 (全楽器共通)</b>	20分から30分程度の任意の独奏曲。時代様式の異なった複数の曲が望ましい。 ※暗譜で演奏すること。
	<b>打楽器</b>	20分から30分程度の任意の独奏曲。様式の異なった複数の曲が望ましく、1曲はピアノ伴奏付であること。 ※暗譜の必要なし。 ※演奏する楽譜のコピー、所定の楽器等使用一覧、セッティング表を出願時に提出のこと（製本はしないこと）。

<b>室内楽</b>	● 1グループの構成は、2名以上6名以内とする。全員が各々願書を出し、受験曲目届出用紙に全員の氏名、楽器名等を記入してください。 (1) 20分程度の任意の曲（複数曲も可）。邦楽器については事前に問い合わせること。 ※暗譜の必要なし。 (2) 口述試問
------------	---

## 声楽専攻

- (1) アリア 3 曲 (オペラ、オラトリオより任意の曲。原調、原語とする)
- (2) 歌曲 3 曲 (任意の曲)
- ※演奏時間は 15 分以上 (前奏、間奏、後奏省略可)。2ヶ国語以上の作品を用意すること。
- ※暗譜で曲目届順に演奏すること。ただし、試験中に曲順や打ち切りについての指示があった場合は、それに従うこと。
- ※歌曲のみ 6 曲を歌うことも可とする。

## 作曲指揮専攻

作曲	作曲実習	<p>(1) 楽譜による作品提出</p> <p>①管弦楽曲 1 曲 (独奏者、独唱者を伴う協奏的作品も可)</p> <p>②室内楽曲 2 曲 (声楽作品を含むものも可)</p> <p>※平成 29 年 12 月 18 日 (月) 17:00 までに①②を大学院課に提出すること (製本はしないこと。原譜のコピー可。表紙に氏名を記入のこと)。郵送の場合は簡易書留とし、提出期日までの必着とする (願書と同封も可)。</p> <p>※①②とも原則として提出楽譜の大きさは A 3 サイズまでとする。</p> <p>※①②とも 1 作品につき 800 字程度の作品に関する解説を付け、作品と同時に提出。用紙は自由。作品名及び氏名を記入のこと。</p> <p>(2) 口述試問</p> <p>予備質問書に記入し、願書と共に提出のこと。</p>
	邦楽・古楽・民族楽器演習 I	<p>(1) 実技試験：以下の①②のどちらかを選択すること</p> <p>①任意の楽器による 8 分以上 15 分以内の演奏</p> <p>②楽譜による作品提出：室内楽曲 (2 名以上の編成) または管弦楽曲 1 曲</p> <p>※平成 29 年 12 月 18 日 (月) 17:00 までに①②を大学院課に提出すること (製本はしないこと。原譜のコピー可。表紙に氏名を記入のこと)。郵送の場合は簡易書留とし、提出期日までの必着とする (願書と同封も可)。</p> <p>※「邦楽・古楽・民族楽器演習 I」以外の履修の実技試験又は提出作品の審査を受けた者は、その結果をもって代えるものとし、本実技試験を免除する。</p> <p>(2) 口述試問</p>
指揮		<p>(1) 聴音：旋律 (単旋律、二声及び四声) の書き取り (四声は木管四重奏の録音による)</p> <p>(2) 全ての音部記号を用いた旋律の初見視唱</p> <p>(3) 簡単な旋律のピアノ初見弾き歌い</p> <p>(4) スコアリーディング (2 管編成程度の管弦楽曲)</p> <p>(5) 指揮実技 (演奏は 2 台のピアノによる)</p> <p>a) 初見曲</p> <p>b) ブラームス：交響曲 第 3 番</p> <p>※ b は暗譜で演奏 (指揮) すること</p> <p>(6) 演奏実技 (ピアノを含む任意の楽器を演奏) ※声楽を含まない。暗譜の必要なし。</p> <p>(7) 和声 (バス・ソプラノ課題 [中級程度] 90 分)</p> <p>(8) 小論文 (90 分)</p> <p>(9) 口述試問</p>

## 音楽教育専攻

ソルフェージュ	<p>(1) ソルフェージュ実技試験</p> <p>a) 聴音（単旋律、対位旋律、四声体和声）</p> <p>b) 新曲視唱（各種音部記号による。ただしメゾ・ソプラノ、バリトン記号を除く）</p> <p>c) ピアノによる初見演奏</p> <p>(2) 実技試験：以下の①②のどちらかを選択すること</p> <p>①器楽又は声楽：自由なプログラムによる8分以上15分以下の演奏（伴奏者が必要な場合は各自用意すること。出版されていない楽曲を演奏する場合は楽譜を提出すること）</p> <p>②楽譜による作品提出：任意の編成による作品2曲以上</p> <p>※平成29年12月18日（月）17:00までに①②を大学院課に提出すること（製本はしないこと。原譜のコピー可。表紙に氏名を記入のこと）。郵送の場合は簡易書留とし、提出期日までの必着とする（願書と同封も可）。</p> <p>(3) ピアノ実技</p> <p>上記(2)の①でピアノ演奏を選択しない者、及び②に該当する者。</p> <p>課題曲 J. S. バッハ</p> <p>平均律クラヴィーア曲集第I・II巻より任意の1曲（前奏曲とフーガ）</p> <p>(4) 口述試問</p> <p>※(2)①、(3)は暗譜で演奏すること。</p>
---------	--

## 科目等履修生Ⅱ

器楽 声楽 作曲指揮 音楽教育	各研究領域 (音楽学を除く)	<p>(1) 筆記試験：音楽研究に関する小論文（課題は当日指定する。枚数自由、90分）</p> <p>(2) 口述試問</p>
音楽教育	音楽学研究領域	<p>(1) 筆記試験：音楽研究に関する小論文（課題は当日指定する。枚数自由、90分）</p> <p>(2) 口述試問（必要に応じて外国語能力に関する試問を行う場合がある。）</p>

## 6 出願手続

出願書類を一括し、本学所定の封筒を使用して、出願期間内に「簡易書留」により郵送してください。

なお、所定用紙欄に○が付いたものは綴り込みの書式を使用してください。一部の書式はホームページからのダウンロード（DL）が可能です。

所定用紙		出願書類	注意事項
○	1	願書	氏名は戸籍と同一のこと。タテ4.5cm×ヨコ3.5cm 願書受付日前3ヶ月以内に撮影した写真を貼付してください。
○	2	履歴書	音楽修学歴は高等学校以降、師事した教師名、及び指導を受けた専攻名、科目名、楽器等名を記入してください。
	3	卒業（見込）証明書	在籍していた全ての大学（学部、専攻科等）の証明書が必要です。
	4	成績証明書	
○	5	受験曲目届出用紙（実技試験受験者）	受験曲目を記入してください。打楽器受験者は楽譜のコピー、所定の楽器等使用一覧、セッティング表も提出すること。
○ (DL可)	6	予備質問書(1)(2)（「作曲実習」のみ）	質問の答えを記入してください。
○ (DL可)	7	研究計画書（科目等履修生Ⅱのみ）	作成を予定している論文のテーマ、これまでの研究状況、これからの研究計画を本学所定の用紙に記入すること。
○	8	検定料（払込取扱票）	検定料 20,000 円（検定料振込期間は p.5 参照） 郵便局窓口で、本要項に綴り込みの「払込取扱票・振替払込請求書兼受領証」を使って納金してください。 振替払込請求書兼受領証は、試験が終わるまで大切に保管してください。
○	9	受験票	願書と同じ写真を貼付してください。 受験票は出願受付後、受験票返信封筒にて、受験票、受験上の注意及びその他受験に必要な書類を平成30年2月上旬までに簡易書留速達で送付します。 試験日の一週間前になっても届かない場合は、氏名、研究領域、出願書類の投函日、電話番号を明らかにして、大学院課までお問い合わせください。
○	10	受験票返信用封筒	受験票返信用封筒に受信住所、郵便番号、氏名を明記し、672円分（簡易書留・速達郵便料）の切手を貼付してください。
	11	在留カード等	外国人出願者のみ提出。外国人登録証明書（在留資格及び在留期間が明示されているもの）や在留カードの両面、又はパスポート（氏名・生年月日・パスポート番号・写真・有効期限及びビザ（査証）のページ）のコピーを提出してください。
	12	日本語学習経歴書	外国人出願者のみ提出。様式自由（本学における研究活動に十分な日本語能力を有することがわかるもの） 日本語能力試験N1（1級）又はN2（2級）の合格証がある場合はそのコピーを提出してください。
	13	東京音楽大学附属民族音楽研究所 社会人特別講座修了（見込）証明書	本学附属の民族音楽研究所の社会人特別講座修了（見込）者は、登録料が割引されますので、証明書を提出してください。

## 【注意】

### ●全出願者

※外国語（英語を除く）で書かれた証明書や文書等がある場合、日本語訳又は英語訳及び公証書を添付してください。

※改姓等により各種証明書の氏名が出願時の氏名と異なる場合、戸籍抄本を提出してください。

※学位授与機構によって学位が授与された者は、卒業証明書および成績証明書と併せて学位授与証明書を提出してください。学位取得見込の場合は学位授与申請受理証明書を提出してください。

※出願後の提出書類の変更は認めません。また、提出された書類や検定料等は返還しません。

※出願書類に虚偽の記載があった場合、出願を無効とします。

※出願書類がすべて揃っていない場合、出願期間を過ぎたものは受け付けできませんので注意してください。

※以下の項目に該当する場合、事前にご連絡ください。

- ・身体に障がいがあり、受験上の特別な措置が必要な場合（平成 29 年 12 月 18 日（月）まで）
- ・不慮の事故等により、受験上の特別な措置及び修学上の特別な配慮が必要になった場合
- ・出願後、住所・氏名・電話番号に変更があった場合

### ●外国人出願者

※留学ビザ取得には、当該教育機関で 1 週間につき 10 時間以上受講することが必要なため、本学の科目等履修生では取得することができません。他の在留資格を得て、在留資格が明示されているものを必ず用意してください。

※登録後、他の学生と区別なく授業・レッスンを受けるのに十分な日本語能力（日本語能力試験 N1（1 級）または N2（2 級）程度）を有すること。

## 7 合格発表

合格者の受験番号を、平成 30 年 2 月 26 日（月）13:00～17:00 に本学 J 館 2 階ロビーに掲示し、平成 30 年 2 月 26 日（月）13:30～2 月 27 日（火）13:30 の期間中にホームページへ掲載します。電話での問合せには応じません。

合格者には、合格通知書とともに、登録手続きに必要な書類を願書の「現住所」欄に記入された住所宛に郵送します。

## 8 問い合わせ先

### 【大学院課（修士課程担当）】

開室時間：平日・土曜 9:00～17:00（場所 J 館 2 階）

直通電話：03-3982-9426

# IV

## 登録手続

### 1 登録手続

#### (1) 受付期間

窓口持参：平成30年2月27日（火）～3月13日（火）9：00～17：00（日曜を除く）

郵送受付：平成30年2月27日（火）～3月13日（火）期間内必着

※上記の期間内に手続きを完了しない者は、登録の意志がないものとして合格を取り消します。

※手続きの詳細については、合格発表後に郵送する関係書類に明示します。

#### (2) 登録手続に必要な書類

- ①誓約書（本学所定の用紙。第一・第二保証人連署）
- ②住民票（3ヶ月以内のもの）
- ③学生証用写真（カラー、サイズ縦4.5cm×横3.5cm）
- ④受験票

下記の者は、平成30年3月30日（金）までに証明書を提出してください。学士の学位が得られなかった場合は、その旨をすみやかに大学院課にご連絡ください。

- ・平成30年3月卒業見込者：卒業証明書及び成績証明書
- ・学位授与機構に学位授与申請中の者：学位授与証明書

※詳細は入学手続書類に同封される案内をご確認ください。

#### (3) 登録辞退

平成30年3月30日（金）11：30までに登録辞退を申し出て、その手続をした場合、登録料を除く納入金を返還いたします。手続方法の詳細は、登録手続書類に同封される案内をご確認ください。

※室内楽実習はグループ全員が登録できなかった場合は、合格は取り消しとなります。

### 2 学費

分類		登録料※ (初年度のみ)	受講料	合計 (初年度)
科目等履修生Ⅰ (音楽家養成コース)		130,000円	2単位 272,000円 4単位 544,000円	2単位 402,000円 4単位 674,000円
科目等履修生Ⅱ	論文作成		40分/回 200,000円	200,000円
	音楽学実習		80分/回 400,000円	400,000円

※科目等履修生Ⅰ：本学出身者又は民族音楽研究所社会人特別講座修了者の登録料は100,000円とします。

\*科目等履修生には「科目等履修生証」を交付しますが、通学定期券の購入及び旅客鉄道学割証の利用はできません。

# V

## 成績開示

科目等履修生試験の成績開示については、試験を受験して不合格であった者から開示請求があった場合、下記のとおり行います。

### 1 開示の請求方法

受験票、返信用封筒（返信先を明記し、242円切手を貼付した定型封筒）及び所定の申請書（後日ホームページで発表）を同封の上、「試験成績開示請求」と朱書きをして、特定記録郵便により大学院課へ送付してください。

### 2 開示申請期間

平成30年2月27日（火）～3月13日（火）

### 3 開示方法

申請書を受理した日から30日以内に、開示内容を記載した書面を受験者本人宛てに、特定記録郵便にて送付します。

# VI

## 個人情報の取り扱いについて

### 1 個人情報の取り扱いについて

願書提出時に提供いただく「氏名、住所（連絡先）、その他の個人情報（以下、個人情報）」は、選考並びに試験の可否案内・登録手続の連絡を行うために使用します。

なお、合格された方の上記個人情報につきましては、登録後は登録時に提出いただく学生カードと併せて学修指導、緊急連絡の他、学生生活の支援に必要なが生じた場合に使用します。

### 2 個人情報の管理・保管について

本学は、受験生の方々から提供を受けた個人情報を学校法人東京音楽大学個人情報保護規程に従い、厳重な管理体制の下で管理・保管し、受験生の方々の個人情報が第三者に漏洩しないようにいたします。



# 平成30年度 東京音楽大学大学院音楽研究科(科目等履修生)願書

※は大学記入欄

フリガナ		性別	生年月日		受験番号
氏名		男・女	西暦	年 月 日	※
	戸籍簿・住民票記載文字を使用		満 歳	(平成30年4月1日現在)	
志望理由					
志望科目	専攻	研究領域		写真貼付欄 ・上半身無帽 ・出願前3ヶ月以内の撮影 ・正面を向き顔がはっきりと確認できるもの ・カラーまたは白黒 ・写真裏面氏名記入 (縦4.5cm×横3.5cm)	
	科目	楽器等名 ( )			
	専攻	研究領域			
科目	楽器等名 ( )				
〒	—	国籍			
フリガナ					
現住所	都・道				
	府・県				
TEL (自宅)			FAX		
TEL (携帯)			メール アドレス		

## 出願資格(学歴) 略称とせず正式名称記入

学校区分 <small>(該当項目を○で囲む)</small>	1. 国立 2. 公立 3. 私立 4. 外国の学校 5. その他 ( )				
学校名	大学	学部		学籍番号 <small>(本学卒業見込者)</small>	
	学科	専攻 ( )			
卒業(見込)年	西暦	年 月	卒業	・	卒業見込み
実技試験免除の希望 (本学卒業見込みの者は必ずどちらかを○で囲むこと)					有 ・ 無
東京音楽大学附属民族音楽研究所 社会人特別講座 受講番号					
伴奏者 ・ 共演者 ・ 譜めくり等 氏名					

## 緊急時の連絡先

フリガナ		本人との関係	TEL (自宅)	
氏名			TEL (携帯)	
			FAX	
〒	—			
フリガナ				
現住所	都・道			
	府・県			

平成30年度  
履 歴 書

東京音楽大学大学院音楽研究科(科目等履修生)

※は大学記入欄

フリガナ		受験番号
氏 名		※

(注)西暦で記入

学 歴	年 月 ~ 年 月	高等学校
	年 月 ~ 年 月	
	年 月 ~ 年 月	
	年 月 ~ 年 月	
	年 月 ~ 年 月	
音 楽 修 学 歴  (高等学校以降 教師名と指導を受けた内容)	年 月 ~ 年 月	
	年 月 ~ 年 月	
	年 月 ~ 年 月	
	年 月 ~ 年 月	
	年 月 ~ 年 月	
	年 月 ~ 年 月	
	年 月 ~ 年 月	
職 歴	年 月 ~ 年 月	
	年 月 ~ 年 月	
(コンクール・奨学金等) 受 賞 歴		

## 平成30年度 東京音楽大学大学院音楽研究科(科目等履修生)受験票

※は大学記入欄

受験番号			
※			
専攻	研究領域	科目名	楽器等名
フリガナ		西暦	年 月 日生
氏名			男・女
伴奏者 ・ 共演者 ・ 譜めくり等氏名			

## 写真貼付欄

- ・願書と同一写真
- ・上半身無帽
- ・出願前3ヶ月以内の撮影
- ・正面を向き顔がはっきりと確認できるもの
- ・カラーまたは白黒
- ・写真裏面氏名記入  
(縦4.5cm×横3.5cm)

キリトリ線

## 注意事項

1. 試験期間中は、必ず受験票を携帯してください。
2. 共演者、伴奏者、譜めくりは、受験票のコピーを持参し、守衛室に呈示して入構してください。

## 大学案内図



## 交通機関

J R：「池袋駅」東口または「目白駅」より徒歩約15分  
 私 鉄：西武池袋線・東武東上線「池袋駅」より徒歩約15分  
 地下鉄：副都心線「雑司が谷駅」1番出口より徒歩約5分  
 丸ノ内線・有楽町線「池袋駅」より徒歩約15分

都 電：荒川線「鬼子母神前駅」より徒歩約5分  
 都バス：「東京音楽大学前」より徒歩約3分

平成30年度 科目等履修生  
器楽専攻 鍵盤楽器 (ピアノ) 曲目届出用紙

※は大学記入欄

氏名	裏面に記入してください。	受験番号	※
1. (1) (2) のどちらかを選択		2. 自由曲 (2曲以上)	
(1) バッハ平均律 第I巻・第II巻 (○で囲む)  no. _____  BWV _____  調性 _____  〈演奏時間〉 プレリュード _____ 分 _____ 秒  フーガ _____ 分 _____ 秒	(2) エチュード (任意の1曲) 〈作曲者名〉 _____  〈タイトル〉 _____  〈作品番号〉 _____  〈演奏時間〉 _____ 分 _____ 秒	① 〈作曲者名〉 _____ 〈タイトル〉 _____ 〈作品番号〉 _____ 〈演奏時間〉 _____ 分 _____ 秒	
		② 〈作曲者名〉 _____ 〈タイトル〉 _____ 〈作品番号〉 _____ 〈演奏時間〉 _____ 分 _____ 秒	
		③ 〈作曲者名〉 _____ 〈タイトル〉 _____ 〈作品番号〉 _____ 〈演奏時間〉 _____ 分 _____ 秒	
		演奏時間 1, 2 合計 _____ 分 _____ 秒	

キリトリ線

キリトリ線

平成30年度 科目等履修生  
器楽専攻 鍵盤楽器 (伴奏) 曲目届出用紙

※は大学記入欄

氏名	裏面に記入してください。	受験番号	※
	作曲者名、曲目	演奏時間	ピアノの屋根
課題 (1)	A(記号)	分 秒	全開・半開・閉
	B(記号)	分 秒	全開・半開・閉
課題 (2)	A(記号)	分 秒	全開・半開・閉
	B(記号)	分 秒	全開・半開・閉

演奏時間 AB 合計 \_\_\_\_\_ 分 \_\_\_\_\_ 秒

フリガナ	
氏名	

キ  
リ  
ト  
リ  
線

キ  
リ  
ト  
リ  
線

フリガナ	
氏名	

平成30年度 科目等履修生

# 器楽専攻（オルガン，チェンバロ，室内楽）曲目届出用紙

※は大学記入欄

氏名		裏面に記入してください。		受験番号	※	
専攻等	専攻楽器等	作曲者名		曲目	演奏時間	
器 楽 専 攻	鍵盤 楽器	オルガン	課題 (1)			分 秒
			課題 (2)			分 秒
			課題 (3)			分 秒
			課題 (4)			分 秒
			課題 (5)			分 秒
	チェンバロ	課題 (1)			分 秒	
		課題 (2)			分 秒	
		課題 (3)			分 秒	
		課題 (4)			分 秒	
		課題 (5)			分 秒	
		課題 (6)			分 秒	
		課題 (7)			分 秒	
	室内 楽		課題 (1)	室内楽編成： 室内楽メンバー氏名、楽器名：		
作曲者名：曲目				分 秒		

キリトリ線

フリガナ	
氏名	

平成30年度 科目等履修生  
器楽専攻 弦楽器 曲目届出用紙

※は大学記入欄

楽器名		氏名	裏面に記入してください。	受験番号	※
作曲者名		曲目(調性、作品番号、楽章等)			演奏時間
課題(1)					分 秒
課題(2)					分 秒
課題(3)					分 秒

演奏時間 合計 \_\_\_\_\_ 分 \_\_\_\_\_ 秒

----- キリトリ線 -----

平成30年度 科目等履修生  
器楽専攻 管打楽器 曲目届出用紙

※は大学記入欄

楽器名		氏名	裏面に記入してください。	受験番号	※
作曲者名		曲目(調性、作品番号、楽章等)			演奏時間
					分 秒
					分 秒
					分 秒
					分 秒

(注)作曲者名・曲名は欧文と日本語で記入すること。

演奏時間 合計 \_\_\_\_\_ 分 \_\_\_\_\_ 秒

フリガナ	
氏名	

キリトリ線

キリトリ線

フリガナ	
氏名	



フリガナ	
氏名	

平成30年度 科目等履修生  
[打楽器受験者用] セッティング表

※は大学記入欄

氏名	裏面に記入してください。	受験番号	※
----	--------------	------	---

- ・セッティングは演奏前に1回のみ行います。全ての演奏曲目に対応できる配置を図示してください。(事前リハーサルあり)
- ・本人位置(●印で記入)、楽器位置(○印、楽器名記入)、ピアノ位置等を図示してください。

客席

ステージ・センター

フリガナ	
氏名	

平成30年度 科目等履修生  
**声楽専攻 曲目届出用紙**

※は大学記入欄

氏名	裏面に記入してください。	受験番号	※
作曲者名	○で囲む	曲目 (アリアの場合はオペラ等の タイトルも記入すること)	演奏時間
	アリア ・ 歌 曲		分 秒
	アリア ・ 歌 曲		分 秒
	アリア ・ 歌 曲		分 秒
	アリア ・ 歌 曲		分 秒
	アリア ・ 歌 曲		分 秒
	アリア ・ 歌 曲		分 秒

- (注) ①作曲者名・曲名は欧文と日本語で記入すること。  
 ②演奏希望順に記入すること(曲順の変更を指示することがある)。  
 ③1曲目と2曲目は異なる言語の作品を選ぶこと。

演奏時間 合計 \_\_\_\_\_ 分 \_\_\_\_\_ 秒

フリガナ	
氏名	

平成30年度 科目等履修生

## 作曲指揮専攻(作曲)口述試問・面接のための予備質問書(1)

※は大学記入欄

氏名	裏面に記入してください。	受験番号	※
主たる研究対象となる分野を選択してください。		1. 芸術研究 2. 応用研究	

1. あなたが現在関心を持っている音楽(作曲家、表現形態、時代様式、傾向等)について、なるべく具体的に述べてください。

2. 音楽以外の芸術ジャンル(文学、美術、演劇、舞踊、映画、民俗芸能等)及び思想・哲学で、あなたが現在関心を持っているものがあれば、それについてなるべく具体的に述べてください。

フリガナ	
氏名	

平成30年度 科目等履修生

## 作曲指揮専攻(作曲)口述試問・面接のための予備質問書(2)

※は大学記入欄

氏名	裏面に記入してください。	受験番号	※
主たる研究対象となる分野を選択してください。		1. 芸術研究 2. 応用研究	

3. 本学大学院の科目を履修した場合の、あなた自身の主な研究課題および創作課題について、考えていること希望していることがあれば述べてください。

4. あなたが作曲を行うときに用いている楽器・器材(コンピューター等を含む)は何ですか。

5. これまでにあなたが作曲した作品を以下に列記してください(提出曲を含む)。

※作品の題名、楽器編成、演奏時間、初演年と場所の順に記述。紙面が足りない場合は適宜A4判の紙を足してください。

フリガナ	
氏名	

平成30年度 科目等履修生

## 作曲指揮専攻 作曲 曲目届出用紙

作曲指揮専攻（作曲）「邦楽・古楽・民族楽器演習Ⅰ」のみの履修希望者（p.10参照）

他の授業科目の履修を希望する場合は、記入不要

※は大学記入欄

氏名		裏面に記入してください。		受験番号	※
課題(1)について①・②いずれを選択するか○印をし、下記を記入すること					① ・ ②
課題 (1)		楽器名	作曲者名	曲目	演奏時間
	①				分 秒
	②	_____曲の作品を提出			

キリトリ線

キリトリ線

平成30年度 科目等履修生

## 作曲指揮専攻 指揮 曲目届出用紙

※は大学記入欄

氏名		裏面に記入してください。		受験番号	※
課題 (6)		楽器名	作曲者名	曲目	演奏時間
					分 秒

(注) 作曲者名・曲名は欧文と日本語で記入すること。

フリガナ	
氏名	

キリトリ線

キリトリ線

フリガナ	
氏名	

平成30年度 科目等履修生  
**音楽教育専攻 ソルフェージュ 曲目届出用紙**

※は大学記入欄

氏 名		裏面に記入してください。		受験番号	※
課題(2)について①・②いずれを選択するか○印をし、下記を記入すること				① ・ ②	
課題 (2)	①	楽器等名	作曲者名	曲 目	演奏時間 分 秒
	②	_____曲の作品を提出			
課題 (3)	ピアノ	作曲者名	曲 目	演奏時間 分 秒	

(注) 作曲者名・曲名は欧文と日本語で記入すること。

キリトリ線

キリトリ線

フリガナ	
氏名	

キ  
リ  
ト  
リ  
線

キ  
リ  
ト  
リ  
線

## 平成30年度 大学院科目等履修生Ⅱ 研究計画書

※は大学記入欄

氏名	裏面に記入してください。	受験番号	※
----	--------------	------	---

テーマ

これまでの研究状況

研究計画

フリガナ	
氏名	

払 込 取 扱 票

振替払込請求書兼受領証

00		口座番号										金額											
00		0	0	1	5	0	3						7	8	1	5	6						
加入者名 <b>東京音楽大学</b>												料金		備考									
通 信 欄 平成30年度東京音楽大学大学院音楽研究科(科目等履修生)選抜試験 必ず郵便局窓口で納金してください。																							
※科目名 _____ 楽器等名 _____																							
受験者 ※ おところ (郵便番号 _____ ) ※ おなまえ _____ 様 (電話番号: _____ )												日 附		印									
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号第55348号) これより下部には何も記入しないでください。																							

口座番号		001503									
加入者名		東京音楽大学									
金額		20000									
ご依頼人		おなまえ(受験者名) ※									
料金		(消費税込み) 受付局日附印									
備考											

各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。  
キリトリ線

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。  
切り取らないで郵便局にお出しください。

キリトリ線

平成29年12月11日(月)～12月18日(月)に郵便局窓口にて納金してください。

(ご注意)

- ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
- ・この用紙による、払込料金は、ご依頼様が負担することとなります。
- ・ご依頼様からご提供いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

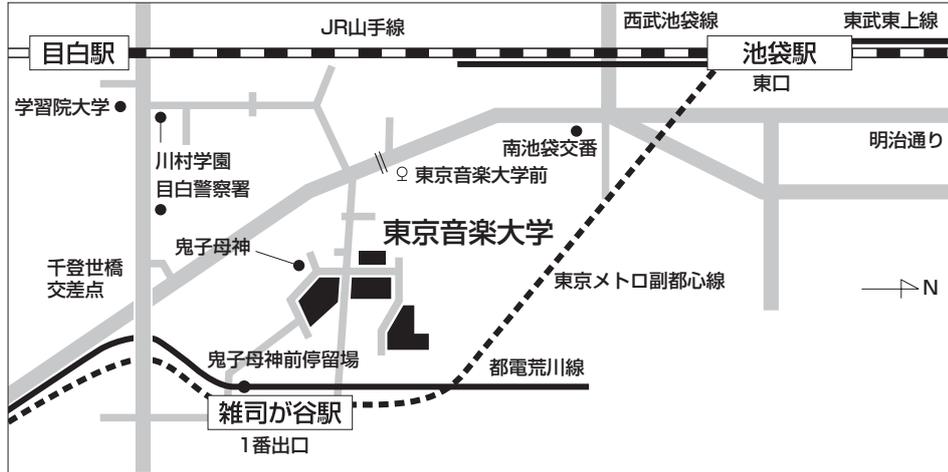
キリトリ線



この場所には、何も記載しないでください。

キリトリ線

# 大学案内図



## 【交通機関】

- J R：「池袋駅」東口または「目白駅」より徒歩約15分
- 私 鉄：西武池袋線・東武東上線「池袋駅」より徒歩約15分
- 地下鉄：丸ノ内線・有楽町線「池袋駅」より徒歩約15分  
副都心線「雑司が谷駅」より徒歩約5分
- 都 電：荒川線「鬼子母神前駅」より徒歩約5分
- 都バス：「東京音楽大学前」より徒歩約3分

## 新キャンパス

平成31(2019)年4月より、「中目黒・代官山キャンパス (仮称)」が開校します。  
(東京都目黒区上目黒 1 丁目)  
池袋キャンパスと新キャンパスにおいて授業を併設する予定です。



## 【交通機関】

- 私 鉄：東急東横線「中目黒駅」または「代官山駅」より徒歩約4分
- J R：「恵比寿駅」より徒歩約10分

TCM

Tokyo College of Music Graduate School

東京音楽大学大学院

171-8540  
東京都豊島区南池袋 3-4-5  
大学院（修士課程担当）

TEL . 03 3982 9426  
<http://www.tokyo-ondai.ac.jp/graduate/>

3-4-5 Minamiikebukuro  
Toshima-ku, Tokyo  
171-8540, Japan

TEL . +81 3 3982 9426